

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種 目	学年
107-122	高等学校	商業科	ソフトウェア活用 新訂版	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		

## 1. 編修の基本方針

編修にさいしては、教育基本法に定める「第一章 教育の目的及び理念」を参照し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う教育を推進することを基本方針として、本文の著述を心がけた（教育基本法第二条）。

### ● 目的意識を持ってソフトウェアを活用する

企業活動を円滑に行うために、今日においてはソフトウェアを活用することが必要不可欠となっている。本教科書においては、豊富な事例や丁寧な操作解説によって、ソフトウェアを活用する方法を習得できるようにしている。しかし、特定のソフトウェアの細かな操作方法を暗記するだけでは応用性がなく、学習者が将来に渡ってさまざまなソフトウェアを活用する際に、本科目で学習したことを活かせなくなってしまう。そこで、「なぜ」「なんのために」ソフトウェアを活用するのか、ということをもとに明確にしたうえで操作方法を説明するように配慮した。

### ● 具体的な場面設定をする

「なぜ」「なんのために」ソフトウェアを活用するのか、という点を意識するためには、具体的に企業活動において課題がある場面を設定し、その下で実践的・体験的に学習することが大切である。そこで、本教科書においては全編を通じて「レストランegg」という架空の飲食店、及びこの飲食店と取引を行っている企業の活動を基に著述している。「レストランegg」は家族経営の飲食店であり、これまでソフトウェアをほとんど活用せずに企業活動を行ってきたという設定である。この企業の抱える課題を表計算ソフトウェア、データベースソフトウェア、業務処理用ソフトウェアなどによって解決することを目指す、という場面設定の下で学習者は学習を進めていく。このような設定にすることで、ソフトウェア活用に関する資質・能力を効果的に身につけられることを目指している。

2. 対照表		
図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Introduction 企業活動におけるソフトウェア活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●他者と協働して企業活動を行ううえで、ソフトウェア活用が果たす役割を示している。(第三号)</li> <li>●レストランを例に、企業を維持するためにはどのような業務が必要か、そのうえで各々がどのような役割を担っているのかを示し、現実の企業活動に興味を持てるようにしている。(第二号)</li> <li>●本教科書の舞台として設定している「レストランegg」の登場人物が、男女で偏らないように配慮している。(第三号)</li> <li>●本教科書の各章で学習する内容を概観することで、学習の見通しを立て、学習意欲が湧くようにしている。(第一号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●vii 頁</li> <li>●viii – xii 頁</li> <li>●ix 頁</li> <li>●xii 頁</li> </ul>
第1章 表計算ソフトウェアの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電子商取引などの、学習者にとって身近な事柄を例に挙げ、ロングテールについて興味を持って学習できるようにしている。(第一号)</li> <li>●食品ロスを題材にして表計算ソフトウェアの活用方法を示すことで、環境の保全のために知識・技術を活用できるようにしている。(第四号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●12頁</li> <li>●16頁</li> </ul>
第2章 データベースソフトウェアの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ビッグデータの活用について具体的な事例を基に紹介することで、学習者がデータ活用について興味を持てるようにしている。(第一号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●59頁</li> </ul>
第3章 情報システムの開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プログラミングを行う際に適切な変数名やオブジェクト名を設定する必要性について、他者と協力してシステム開発を行うような場合を想定して説明している。(第三号)</li> <li>●利用者のことを想定してユーザーフォームを作成することの必要性を示している。(第三号)</li> <li>●表計算ソフトウェアとデータベースソフトウェアの特徴を具体的に対比することで、それぞれのソフトウェアの特徴を、興味を持って考えられるようにしている。(第一号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●132頁</li> <li>●155頁</li> <li>●172頁</li> </ul>

<p>第4章 業務処理用ソフトウェアの活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●業務に関わる人々が円滑にコミュニケーションをとることの必要性と、それをソフトウェア活用によって実現する方法を著述し、他者との協力を促している。(第三号)</li> <li>●企業活動のうち給与や給与計算について触れ、それを支えるソフトウェアについて著述することで、働き方について考えられるようにしている。(第二号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●222頁</li> <li>●244頁－245頁</li> </ul>
<p>第5章 安全で効率的なソフトウェア活用環境の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●インターネットが世界中のネットワークと接続されていることに触れ、国際的な視野の育成を図っている。(第五号)</li> <li>●情報セキュリティ教育について著述することで、適切な情報管理に関する学習者の関心を高めるようにしている。(第一号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●274頁</li> <li>●304頁</li> </ul>
<p>Ending 「ソフトウェア活用」で学んだことを活かして</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ソフトウェアの活用により企業活動が促進されることを改めて著述することで、学習したことと職業の関連を意識させるようにしている。(第二号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●306～309頁</li> </ul>

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

口絵は学習者の興味を引き出すとともに、本文の補足的な内容になるよう配慮し、「実務に即して体系的・系統的に理解」できるようにした。

口絵①・②には、本教科書の事例としている「レストラン egg」のメニューを登載した。このメニューは、基本的には各章の内容と合致しているため、口絵を参照しながら具体的に学習を進めることができるようになっている。

口絵③では各章で学習する内容を提示し、学習の全体像を持てるようにした。

口絵④では SQL 構文のまとめを登載し、特に第2章を学習する際の補助となるようにした。

口絵⑤・⑥では表計算ソフトウェアにおけるプログラミングの関数や構文を整理し、特に第3章を学習する際の補助となるようにした。



# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種 目	学年
107-122	高等学校	商業科	ソフトウェア活用	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

- 本教科書においては、表計算ソフトウェア、データベースソフトウェア、業務処理用ソフトウェアなどのさまざまなソフトウェアの操作方法を解説している。しかし、操作方法自体を習得することを目的とするのではなく、ソフトウェアを活用して何を実現するのかということに焦点を当てることにより、「企業活動におけるソフトウェアの活用に必要な資質・能力」を育成することを目指した。
- これまでソフトウェアを活用してこなかった家族経営の飲食店である「レストランegg」、およびこの飲食店と取引を行ういくつかの企業を舞台とすることにより、「実務に即して」、具体的な場面の中でソフトウェアを活用し、問題解決をすることができるようにした。
- 具体的な企業活動を題材とした例題を提示したり、ストーリーとして企業の抱える問題を提示したりしたうえでソフトウェアの活用方法を紹介することにより、主体的、対話的で深い学びの実現を目指した。
- ソフトウェアの操作方法については、操作画面を画像として掲載することで、学習者が操作を追試しやすいように配慮している。
- 本文中の略語については、側注に原語を掲載するようにし、理解の促進を図っている。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領 の内容	該当箇所	配当 時数
Introduction 企業活動におけるソフトウェア活用	(1) 企業活動とソフトウェアの活用 ア ソフトウェアの重要性	vii-xii 頁	1
第1章 表計算ソフトウェアの活用	(2) 表計算ソフトウェアの活用	1-54 頁	18
第1節 情報の集計			

①グループ集計	ア オペレーション ズ・リサーチ		
②クロス集計			
第2節 情報の分析	イ 情報の集計と分析 ウ 手続の自動化		
①Z グラフ			
②パレート図と ABC 分析			
③ファンチャート			
第3節 シミュレーション			
①フィル機能を用いた確定モデルのシミュレーション			
②数式を用いた確定モデルのシミュレーション			
③乱数を使った確率モデルのシミュレーション			
④標本を用いた母集団の傾向の推測			
第4節 オペレーションズリサーチ			
①在庫管理			
②回帰分析			
③線形計画法			
④待ち行列			
⑤日程管理			
⑥ゲーム理論			
第5節 手続きの自動化			
①マクロの基礎			

第2章 データベースソフトウェアの活用	(3)データベースソフト	55-126頁	25
第1節 データベースの重要性	ウェアの活用		
①データベースの概要と特徴	ア データベースの重		
②データの整合性を保つ技術	要性		
③障害対策	イ データベースの設		
第2節 リレーショナルデータベースの概要と設計	計		
①リレーショナルデータベースの概要	ウ データベースの作		
②リレーショナルデータベースの設計	成と操作		
第3節 データベースの作成と操作	エ 手順の自動化		
①データベースの構成と要素			
②データベースの作成			
③データベースの操作			
④レポートの作成			
⑤SQL			
第4節 手続きの自動化			
①手続きの自動化			
第3章 情報システムの開発	(5)情報システムの開発	127-220頁	35
第1節 表計算ソフトウェアによる情報システムの開発	ア 表計算ソフトウェアによる情報システムの開発		
①表計算ソフトウェアのプログラミング	イ データベースソフト		
②表計算ソフトウェアのユーザフォーム	ウェアによる情報シ		
③表計算ソフトウェアによる情報システムの開発	ステムの開発		

第2節 データベースソフトウェアによる 情報システムの開発			
①データベースソフトウェアを利用した システム開発の準備			
②データベースソフトウェアを利用した システム開発			
第4章 業務処理用ソフトウェアの活用	(4)業務処理用ソフトウ	221-270頁	13
第1節 グループウェアの活用	ェアの活用		
①グループウェア	ア 仕入・販売管理ソ		
②グループウェアの導入	フトウェアの活用		
③グループウェアの活用	イ 給与計算ソフトウ		
第2節 給与計算ソフトウェアの活用	ェアの活用		
①給与計算ソフトウェア	ウ グループウェアの		
②給与計算ソフトウェアの画面構成	活用		
③給与計算ソフトウェアの導入と活用			
第3節 仕入・販売管理ソフトウェアの活用			
①仕入・販売管理ソフトウェア			
②仕入・販売管理ソフトウェアの画面構成			
③仕入・販売管理ソフトウェアの導入と活用			
第5章 安全で効率的なソフトウェア活用環 境の構築	(1)企業活動とソフト	271-305頁	12
第1節 安全で効率的なソフトウェア活用環 境	ウェアの活用		
①情報通信ネットワークとソフトウェア活用	イ 情報通信ネットワ ークの導入と運用		
	ウ 情報資産の保護		

②情報セキュリティとソフトウェア活用			
第2節 情報通信ネットワークの導入と運用			
①通信手段の変化			
②ネットワークの導入			
③ネットワークの運用			
④クラウドコンピューティング			
⑤ネットワークを安定して使用するために			
第3節 情報資産の保護			
①情報資産の適切な管理			
②情報セキュリティの3要素			
③情報資産のセキュリティ対策			
④情報セキュリティの脅威と対策			
Ending 「ソフトウェア活用」で学んだことを活かして	(1) 企業活動とソフトウェアの活用 ア ソフトウェアの重要性	306-309頁	1
		計	105

## 常用漢字以外の使用漢字一覧

生姜	炒	平坦	濾過器	中央揃え	罫線	稟議書
口絵②	口絵②	p. 9	p. 97	p. 106	p. 171	p. 222

厨房	筑紫野	針摺西	諏訪野町	昌子	脆弱性
p. 224	p. 247	p. 252	p. 252	p. 255	p. 299

# 出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
viii	店舗のようす	写真					—	執筆者撮影
viii	名物のオムライス	写真					—	執筆者撮影
16	食品ロスの量の推計	本文	●農林水産省 ホーム>会見・報道・広報>報道発表資料>食品ロス量(平成29年度推計値)の公表について><添付資料>日本の食品ロスの状況(平成29年度)、食品ロスの発生量の推移(平成24~29年度)					
243	ざんねんな情報共有	イラスト	ざんねんな情報共有		サイボウズ株式会社	サイボウズ株式会社	—	
273	インターネット利用企業における、情報通信ネットワークの利用の際に発生した過去1年間のセキュリティ被害の状況	グラフ	●総務省 総務省トップ>情報通信統計データベース>統計調査データ>通信利用動向調査(令和5年度)					
275	インターネット利用率の推移	グラフ	●総務省 総務省トップ>情報通信統計データベース>統計調査データ>通信利用動向調査>報道発表資料					
276	情報通信機器の世帯保有状況の推移	グラフ	●総務省 総務省トップ>情報通信統計データベース>統計調査データ>通信利用動向調査(令和5年度)					
276	ショルダーフォン	写真	ショルダーフォン		株式会社NTTドコモ	株式会社NTTドコモ	—	
277	フィーチャーフォン	写真	ガラケーでのメール作成		PIXTA	PIXTA	—	4729731
277	スマートフォン	写真	ミニマトをスマホで撮影		PIXTA	PIXTA	—	116979280
279	公衆無線LANの案内	写真	日本の東京都市景観 東京メトロ・浅草駅(出入口)前にある電話ボックスとFREE Wi-Fiなど		PIXTA	PIXTA	—	69681976
280	NICの例	写真	LANボード(アダプター)		エレコム株式会社	エレコム株式会社	—	
280	LANケーブルの例	写真	LANケーブル(KB-T8)		サンワサプライ株式会社	サンワサプライ株式会社	—	
280	光ファイバケーブルの例	写真	光ファイバケーブル(HKB-SCSC1-L)		サンワサプライ株式会社	サンワサプライ株式会社	—	
280	メディアコンバータの例	写真	光メディアコンバーター(LAN-EC)2RF		サンワサプライ株式会社	サンワサプライ株式会社	—	
280	ハブの例	写真	ハブ(LAN-GIGAPOES1)		サンワサプライ株式会社	サンワサプライ株式会社	—	
282	無線LANルータの例	写真	無線LANルータ		エレコム株式会社	エレコム株式会社	—	
282	無線LANアダプタの例	写真	無線LANアダプタ		エレコム株式会社	エレコム株式会社	—	
287	クラウドサービスの利用状況(企業)	グラフ	●総務省 総務省トップ>情報通信統計データベース>統計調査データ>通信利用動向調査(令和5年度)					
287	企業がクラウドサービスを利用する理由	グラフ	●総務省 総務省トップ>情報通信統計データベース>統計調査データ>通信利用動向調査(令和5年度)					
298	生体認証	写真	指紋認証		PIXTA	PIXTA	—	648215
301	データセンター	写真	スパコン		PIXTA	PIXTA	—	44752857

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
303	ランサムウェア	画像	感染した場合に表示される画面の一例		独立行政法人情報処理推進機構	独立行政法人情報処理推進機構	—	
304	個人情報の取扱いにおける事故報告	本文	●一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC) https://privacymark.jp/guideline/wakaru/g7ccig0000002vj1-att/2023JikoHoukoku_240815.pdf					

(備考) 1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ① 「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。
  - ② 「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。
  - ③ 「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。
- 2 「出典」の欄については次のとおりとする。
- ① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称（版次を含む。）、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者及び発行年次を各欄に示す。
  - ② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号、発行月日等を示す。
  - ③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や保有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認することが可能な情報を記入する。
- 3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又は新たに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。
- 4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。
- (2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること（別途契約を締結する場合を除く）。

備考4の内容について確認しました。



## ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1	iii	二次元コード	東京法令出版株式会社	自社ページURL	教科書に「手順」として紹介しているソフトウェア操作手順のうち、効果的な箇所について、動画で操作方法を解説する	別紙1添付

※ 技術的な理由により一つのウェブページに掲載できる動画の個数に制限があるので、二次元コードによってアクセスできる自社ウェブページにおいてハイパーリンクを設定し、そこから他の自社ウェブページにジャンプできるようにする。

以下に、「ウェブページのアドレス等の掲載箇所一覧表」番号1で示したウェブページおよびそこからリンクするウェブページに掲載する動画の概要・画面キャプチャイメージを掲載する。

※ 編集の都合上、教科書の赤囲み・赤丸番号などが掲載されているが、実際の動画ではこの赤囲み・赤丸番号は入らない。教科書の「手順」と同じ操作をするところを動画にするので、原則として、以下の画面キャプチャと同じシーンが動画にも存在する。

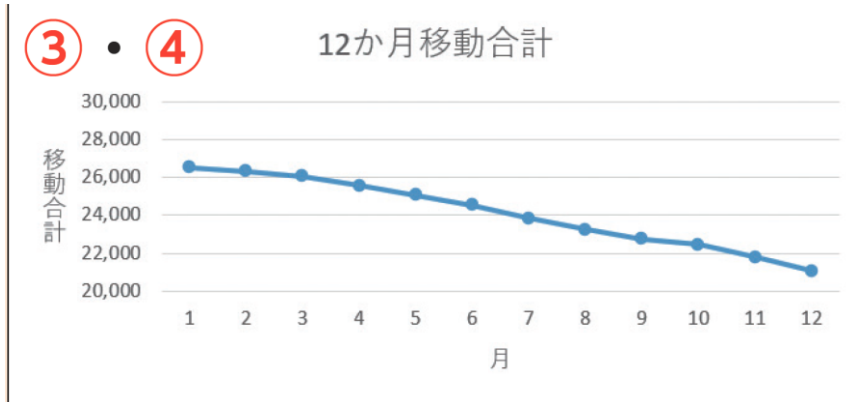
◆ 動画 1 教科書 p.3 手順 (p.2 例題 1-1-1 「グループ集計」について) の操作動画

	A	B	C	D	E	F
1		食べ物のメニュー月次売上一覧表(4月)				
2						
3	No	(1) 商品名	分類	単価	売上数	売上高
4	1	オムライス(デミグラスソース)	オムライス類	700	192	134,400
5	2	オムライス(トマトソース)	オムライス類	700	128	89,600
6	3	オムドリア	オムライス類	800	80	64,000
7	4	チーズとろーりオムドリア	オムライス類	900	68	61,200
8	5	究極ビーフオムライス	オムライス類	1,000	84	84,000
9	6	和風ハンバーグ	ハンバーグ類	900	96	86,400
10	7	焼きチーズハンバーグ	ハンバーグ類	900	80	72,000
11	8	デミソースハンバーグ	ハンバーグ類	900	40	36,000
12	9	目玉焼きハンバーグ	ハンバーグ類	1,000	20	20,000
13	10	オムハンバーグ	ハンバーグ類	1,000	20	20,000
14	11	特注オムレツハンバーグ	ハンバーグ類	1,200	12	14,400
15	12	煮込みハンバーグ	ハンバーグ類	900	40	36,000
16	19	ナポリタン	パスタ類	800	168	134,400
17	20	森のキノコパスタ	パスタ類	800	144	115,200
18	21	朝取り野菜のペペロンチーノ	パスタ類	800	60	48,000
19	22	キノコクリームパスタ	パスタ類	800	80	64,000
20	23	ジェノバクリームパスタ	パスタ類	1,000	48	48,000
21	24	濃厚カルボナーラ	パスタ類	1,000	60	60,000
22	25	ペスカトーレ 漁師風	パスタ類	1,200	48	57,600
23	26	辛子明太子クリームパスタ	パスタ類	1,100	60	66,000

◆ 動画2 教科書 p.4 手順 (p.4 例題 1-1-2 「クロス集計」について) の操作動画

	A	B	C	D
1				
2				
3	<b>合計 / 売上数</b>	列ラベル ▼		
4	行ラベル ▼	ディナー	ランチ	総計
5	オムドリア	24	56	80
6	オムライス(デミグラスソース)	86	106	192
7	オムライス(トマトソース)	77	51	128
8	チーズとろーりオムドリア	37	31	68
9	究極ビーフオムライス	59	25	84
10	<b>総計</b>	<b>283</b>	<b>269</b>	<b>552</b>

◆ 動画3 教科書 p.7 手順 (p.6 例題 1-2-1 「12 か月移動合計の算出と折れ線グラフの作成」について) の操作動画



◆ 動画 4 教科書 p.8 手順 (p.8 例題 1-2-2 「Z グラフの作成」について) の操作動画

	A	B	(5) C	D (3)	E
	期	月	売上高 (千円)	売上高 累計	移動合計
1					
2		1	1,970		
3		2	1,750		
4		3	2,100		
5		4	2,240		
6		5	2,390		
7	23期	6	2,560		
8		7	2,560		
9		8	2,730		
10		9	2,430		
11		10	2,020		
12		11	2,110		
13		12	2,010	(4)	(5)
14	24期	1	1,620	1,620	26,520
15		2	1,570	3,190	26,340
16		3	1,820	5,010	26,060
17		4	1,730	6,740	25,550
18		5	1,910	8,650	25,070
19		6	2,040	10,690	24,550
20		7	1,860	12,550	23,850
21		8	2,120	14,670	23,240
22		9	1,930	16,600	22,740
23		10	1,740	18,340	22,460
24		11	1,460	19,800	21,810
25		12	1,260	21,060	21,060

◆ 動画 5 教科書 p.10 手順 (p.10 例題 1-2-3 「在庫管理のための分析」について) の操作動画



◆ 動画6 教科書 p.15 手順 (p.14 例題 1-2-4 「ファンチャート」について) の操作動画

	A	B	C	D	E	F	G	
1								
2	② パスタ名	売上数			②	売上伸び率		
3		5月	6月	7月		5月	6月	7月
4	朝取り野菜のペペロンチーノ	62	55	46	①	100.0%	88.7%	74.2%
5	濃厚カルボナーラ	32	45	52		100.0%	140.6%	162.5%
6	辛子明太子クリームパスタ	38	42	48		100.0%	110.5%	126.3%



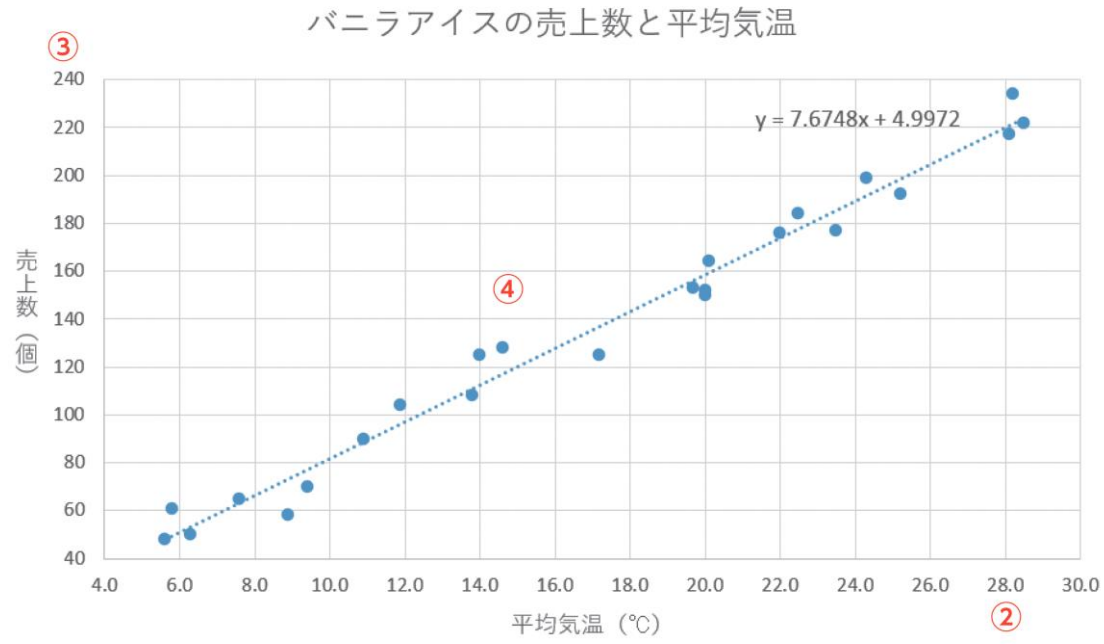
◆ 動画8 教科書 p.19 手順 (p.9 例題 1-3-3 「乱数を使った確率モデルのシミュレーション」について) の操作動画

	A	B	C	D
1				
2	プレゼントシミュレーション表			
3				
4	ゲーム数	サイコロ1	サイコロ2	判定
5	1	1	3	
6	2	3	3	プレゼント
7	3	3	5	
8	4	2	2	プレゼント
9	5	6	4	
10	6	2	5	
11	7	4	1	
12	8	6	5	
13	9	3	2	
14	10	3	3	プレゼント
∧	∧	∧	∧	∧
54	50	1	6	
55				
56	プレゼント数		10	個

◆ 動画9 教科書 p.24 手順 (p.23 例題 1-4-1 「最適発注量の計算」について) の操作動画

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2	年間需要量	① 2,000		発注回数	1回の発注量	年間発注費	年間保管費	総費用
3	1回の発注費	3,200		② 1	③ 2,000	④ 3,200	⑤ 80,000	⑥ 83,200
4	1個の年間保管費	80		2	1,000	6,400	40,000	46,400
5	最適発注量	400		3	667	9,600	26,680	36,280
6				4	500	12,800	20,000	32,800
7				5	400	16,000	16,000	32,000
8				6	334	19,200	13,360	32,560
9				7	286	22,400	11,440	33,840
10				8	250	25,600	10,000	35,600
11				9	223	28,800	8,920	37,720
12				10	200	32,000	8,000	40,000
13				11	182	35,200	7,280	42,480
14				12	167	38,400	6,680	45,080

- ◆ 動画 10 教科書 p.27 手順 (p.27 例題 1-4-4 「回帰分析」のうち、散布図について) の操作動画



◆ 動画 11 教科書 p.28 手順 (p.27 例題 1-4-4 「回帰分析」のうち、分析ツールについて) の操作動画

相関

? X

入力元

入力範囲(I): ② \$A\$4:\$Y\$5

データ方向:  列(C)  行(R) ②

先頭列をラベルとして使用(L) ②

出力オプション

出力先(O): \$E\$7 ③

新規ワークシート(P):

新規ブック(W)

OK

キャンセル

ヘルプ(H)

- ◆ 動画 12 教科書 p.29 手順 (p.27 例題 1-4-4 「回帰分析」のうち、FORECAST 関数について) の操作動画

関数の引数

? X

FORECAST

② X C7 ↑ = 24.5  
③ 既知のy B5:Y5 ↑ = {48,61,104,125,150,184,234,217,1  
④ 既知のx B4:Y4 ↑ = {5.6,5.8,11.9,17.2,20,22.5,28.2,28  
= 193.0286749

この関数は、2013 以前との互換性を保つために使用できます。  
既知の値を使用し、線形トレンドに沿って将来の値を予測します。

既知のx には独立した配列、または数値データの範囲を指定します。既知の x の値の分散が 0 以外である必要があります。

数式の結果 = 193.0286749

[この関数のヘルプ\(H\)](#)

OK

キャンセル

◆ 動画 13 教科書 p.33 手順 (p.30 例題 1-4-5 「線形計画法」について) の操作動画



- ◆ 動画 14 教科書 p.34 手順 (p.34Column 「ゴールシーク」について) の操作動画

ゴールシーク

?

×

数式入力セル(E):	\$B\$14	④	↑
目標値(V):	500000	⑤	
変化させるセル(C):	\$B\$8	⑥	↑

OK キャンセル

◆ 動画 15 教科書 p.36 手順 (p.36 例題 1-4-6 「待ち行列」について) の操作動画

	A	B	C	D	E	F
1						
2	待ち行列シミュレーション					
3	平均到着率	客の到着間隔	サービス時間	平均サービス率	利用率	平均待ち時間
4	(人/時間)	(分/人)	(分/人)	(人/時間)	(%)	(分/人)
5	① 6	③ 10	④ 1	⑤ 60.0	⑥ 10.0%	⑦ 0.1
6	② 6	10	2	30.0	20.0%	0.5
7	6	10	3	20.0	30.0%	1.3
8	6	10	4	15.0	40.0%	2.7
9	6	10	5	12.0	50.0%	5.0
10	6	10	6	10.0	60.0%	9.0
11	6	10	7	8.6	70.0%	16.3
12	6	10	8	7.5	80.0%	32.0
13	6	10	9	6.7	90.0%	81.0
14	6	10	10	6.0	100.0%	#DIV/0!
15	6	10	11	5.5	110.0%	-121.0

- ◆ 動画 16 教科書 p.48 手順 (上) (p.47 例題 1-5-1 「マクロの作成①」のうち、作成について) の操作動画

マクロの記録 ? X

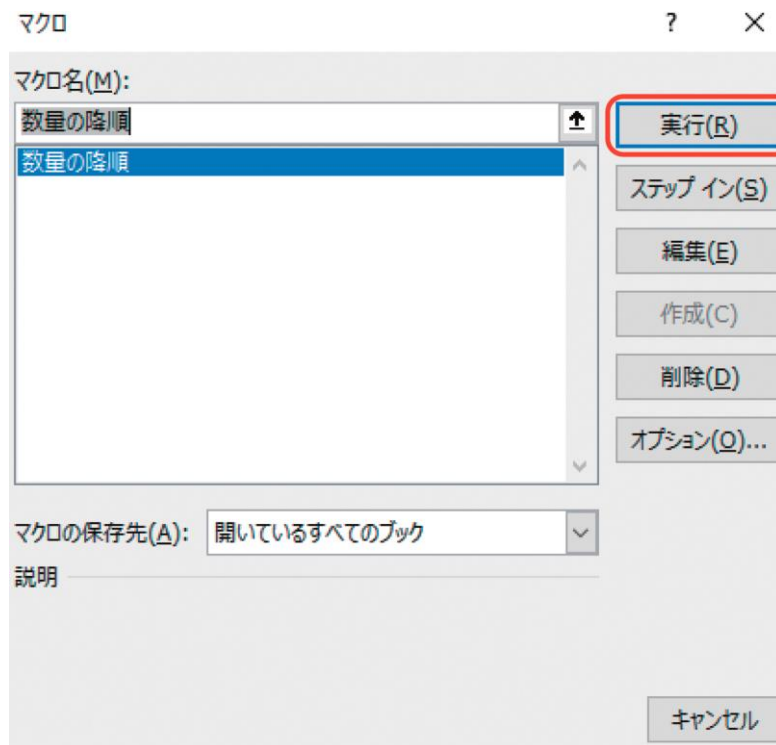
マクロ名(M):  
**数量の降順** **2**

ショートカット キー(K):  
Ctrl+

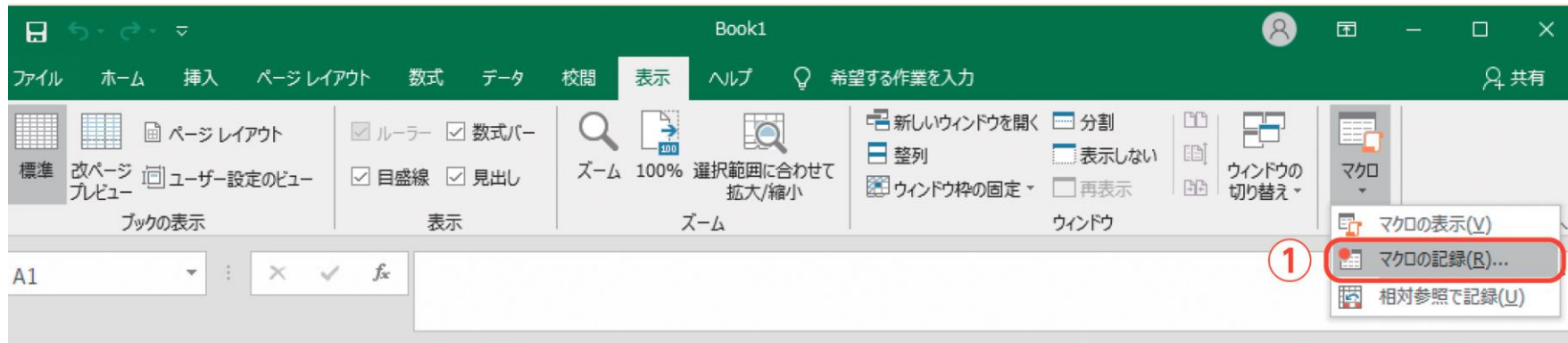
マクロの保存先(I):  
作業中のブック

説明(D):

◆ 動画 17 教科書 p.48 手順（下）（p.47 例題 1-5-1 「マクロの作成①」のうち、実行について）の操作動画



◆ 動画 18 教科書 p.50 手順 (p.50 例題 1-5-2 「マクロの作成②」) の操作動画



◆ 動画 19 教科書 p.51 手順 (p.50 例題 1-5-3 「マクロの編集」) の操作動画

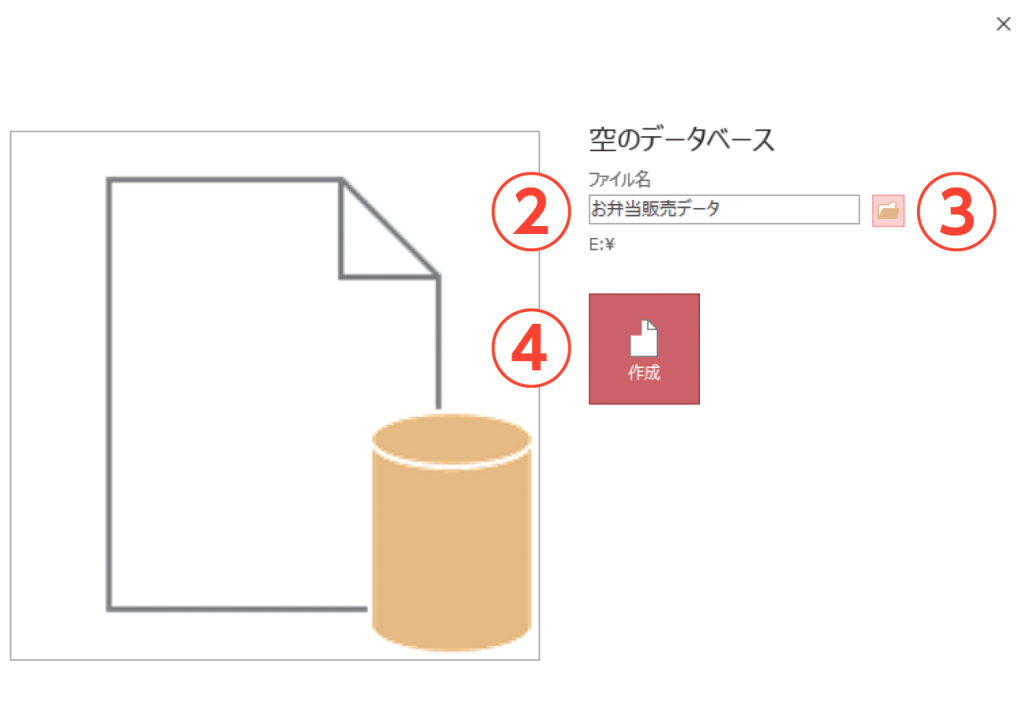
```
(General) 数量の降順
Sub 数量の降順()
' 数量の降順 Macro
'
Range("C3").Select
ActiveWorkbook.Worksheets("Sheet1").Sort.SortFields.Clear
ActiveWorkbook.Worksheets("Sheet1").Sort.SortFields.Add2 Key:=Range("C3:C23") _
, SortOn:=xlSortOnValues, Order:=xlDescending, DataOption:=xlSortNormal
With ActiveWorkbook.Worksheets("Sheet1").Sort
.SetRange Range("A4:C23")
.Header = xlNo
.MatchCase = False
.Orientation = xlTopToBottom
.SortMethod = xlPinYin
.Apply
End With
End Sub
Sub 上位5品の抽出()
' 上位5品の抽出 Macro
'
Range("A1:C8").Select
Selection.Copy
Sheets.Add After:=ActiveSheet
ActiveSheet.Paste
End Sub
```

② 「数量の上位 5 品を抽出 ()」に変更

③ コピーして「End Sub」の下に貼り付け

④ この部分を削除する

- ◆ 動画 20 教科書 p.88 手順 (p.88 例題 2-3-1 「データベースの新規作成」のうち、新規作成について) の操作動画



◆ 動画 21 教科書 p.89 手順 (p.88 例題 2-3-1 「データベースの新規作成」のうち、テーブルの作成について) の操作動画



◆ 動画 22 教科書 p.91 手順 (上) (p.90 例題 2-3-2 「フィールドの定義」のうち、定義について) の操作動画

フィールド名 データ型 説明(オプション)

フィールド名	データ型	説明(オプション)
商品ID	短いテキスト	

フィールドプロパティ

標準	ロックアップ
フィールドサイズ	4
書式	
定型入力	
既定値	
入力規則	
エラーメッセージ	
検索求	いいえ
空白文字列の許可	はい
インデックス	いいえ
Unicode 圧縮	はい
IME 入力モード	使用不可
IME 変換モード	一般
読みがな	

フィールドに入力できる最大文字数です。最大 255 文字まで設定できます。ヘルプを表示するには、F1 キーを押してください。

- ◆ 動画 23 教科書 p.91 手順 (下) (p.90 例題 2-3-2 「フィールドの定義」のうち、主キーの設定について) の操作動画

The screenshot shows the Microsoft Access Design view. The ribbon is set to 'デザイン' (Design). The '主キー' (Primary Key) icon is circled in red with the number '2'. Below the ribbon, the 'すべての' (All) pane shows a search box and a table structure for 'テーブル1' (Table1). The table structure is as follows:

フィールド名	データ型
商品ID	短いテキスト
メニュー名	短いテキスト
分類	短いテキスト
原価	数値型
価格	数値型
製造数	数値型
売上数	数値型
廃棄数	数値型
売上高	通貨型

- ◆ 動画 24 教科書 p.93 手順 (p.93 例題 2-3-3 「データ入力用フォームの作成」について) の操作動画  
フォームウィザード

フォームに含めるフィールドを選択してください。

複数のテーブルまたはクエリからフィールドを選択できます。

2

テーブル/クエリ(I)  
テーブル: お弁当販売テーブル

選択可能なフィールド(A):

商品ID  
メニュー名  
分類  
原価  
価格  
製造数  
売上数  
廃棄数  
売上高

選択したフィールド(S):

3

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(E)

◆ 動画 25 教科書 p.95 手順 (p.96 例題 2-3-4 「データの入力」について) の操作動画

すべての ... ◯ ◀ ◀

検索... 🔍

テーブル ⤴

お弁当販売テーブル

フォーム ⤴

お弁当データ入力フォーム

## お弁当データ入力フォーム

商品ID	<input type="text" value="D001"/>
メニュー名	<input type="text" value="焼肉丼"/>
分類	<input type="text" value="弁当のみ"/>
原価	<input type="text" value="125"/>
価格	<input type="text" value="500"/>
製造数	<input type="text" value="125"/>
売上数	<input type="text" value="121"/>
廃棄数	<input type="text" value="4"/>
売上高	<input type="text" value="¥60,500"/>

◆ 動画 26 教科書 p.98 手順 (上) (p.98 例題 2-3-5 「選択フィルタの利用」のうち選択フィルタの設定について) の操作動画

The screenshot shows the Microsoft Access interface for a database named 'お弁当販売データ'. The 'Filter' menu is open, showing options like '500 に等しい(E)', '500 に等しくない(N)', '500 以下(L)', and '500 以上(G)'. The table below has columns for '商品ID', 'メニュー', '原価', '価格', '製造数', '売上数', '廃棄数', and '売上高'. The '価格' column header is circled in red with the number '1'.

商品ID	メニュー	原価	価格	製造数	売上数	廃棄数	売上高
D001	焼肉丼	125	500	125	121	4	¥60,500
D002	生姜焼き弁当	140	500	70	47	23	¥23,500
D003	自家製メンチカツ弁当	140	500	70	53	17	¥26,500
D004	豚しゃぶ野菜炒め弁当	140	500	100	94	6	¥47,000
D005	玉子とじ野菜炒め弁当	140	500	70	50	20	¥25,000
D006	自家製ハンバーグオムレツ	150	500	175	157	18	¥78,500
D007	ナポリタン	280	800	50	14	36	¥11,200
D008	オムライス	180	600	70	64	6	¥38,400
D009	オムドリア	280	800	50	33	17	¥26,400
D010	究極オムライス	370	1000	20	9	11	¥9,000

◆ 動画 27 教科書 p.99 手順 (p.99 例題 2-3-6 「フォームフィルタの利用」について) の操作動画

お弁当販売データ：データベース- E:¥お弁当販

データ データベース ツール ヘルプ フィールド テーブル 何をしますか

フィルター 昇順 降順 並べ替えの解除

1

詳細設定

- すべてのフィルターのクリア(C)
- フォーム フィルター(F)
- フィルター/並べ替えの実行(Y)
- フィルター/並べ替えの編集(S)...
- クエリから読み込み(Q)...
- クエリとして保存(A)

新規作成 保存 集計 スpell チェック その他

お弁当販売テーブル

商品ID	メニュー
D001	焼肉丼
D002	生姜焼き弁当
D003	自家製メンチカツ

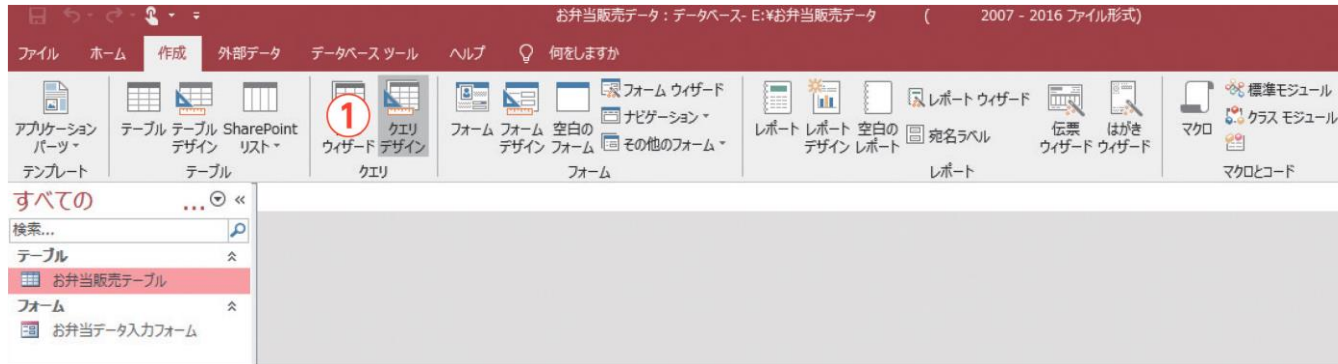
原価	価格
125	500
125	500
140	500

◆ 動画 28 教科書 p.100 手順 (上) (p.100 例題 2-3-7 「レコードの並べ替え」について) の操作動画

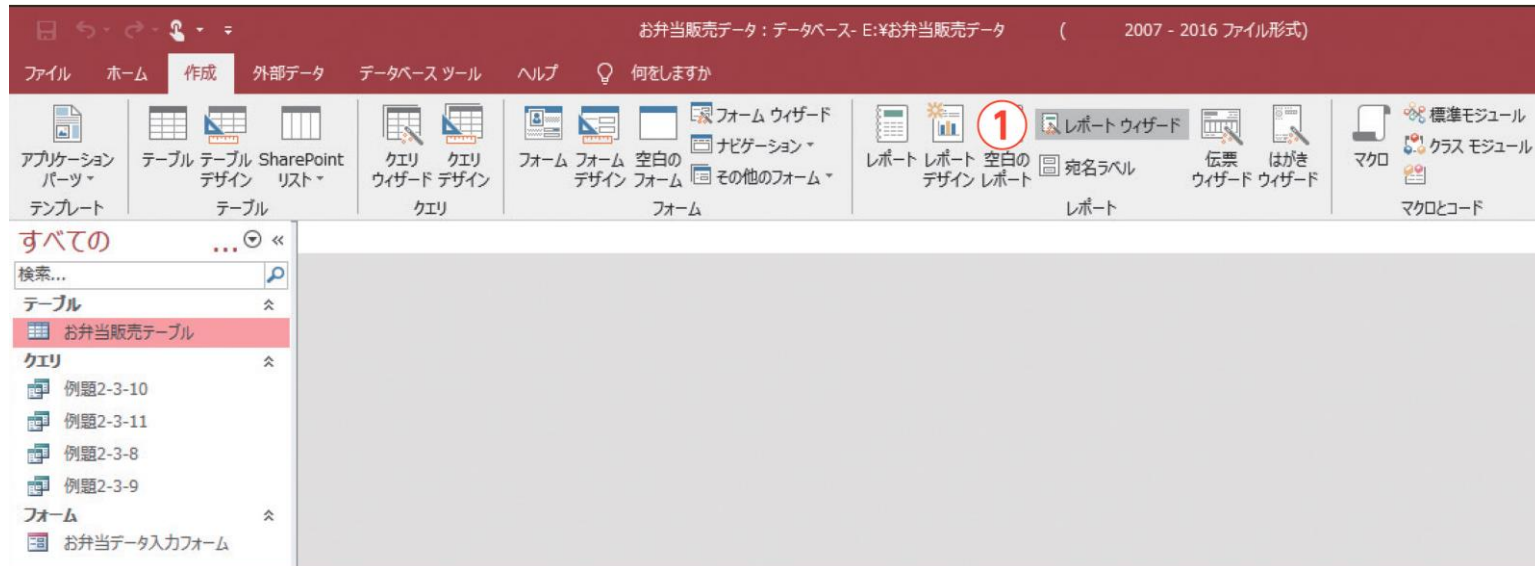
お弁当販売テーブル

商品ID	メニュー名	分類	原価	価格	製造数	売上数	廃棄数	売上高
D001	焼肉丼	弁当のみ	125	500	125	121	4	¥60,500
D002	生姜焼き弁当	弁当のみ	125	500	70	47	23	¥23,500
D003	自家製メンチカツ弁当	弁当のみ	140	500	70	53	17	¥26,500
D004	豚しゃぶ野菜炒め弁当	弁当のみ	140	500	100	94	6	¥47,000
D005	玉子とじ野菜炒め弁当	弁当のみ	140	500	70	50	20	¥25,000
D006	自家製ハンバーグオムレツ	ハンバーグ類	150	500	175	157	18	¥78,500
D007	ナポリタン	パスタ類	280	800	50	14	36	¥11,200
D008	オムライス	オムライス類	180	600	70	64	6	¥38,400
D009	オムドリア	オムライス類	280	800	50	33	17	¥26,400
D010	究極オムライス	オムライス類	370	1000	20	9	11	¥9,000
*			0	0	0	0	0	¥0

◆ 動画 29 教科書 p.101 手順 (p.101 例題 2-3-8 「クエリを利用した AND 条件による抽出」について) の操作動画



◆ 動画 30 教科書 p.104 手順 (p.104 例題 2-3-12 「レポートの作成」のうちレポートの作成について) の操作動画



◆ 動画 31 教科書 p.108 手順（下）（p.107 例題 2-3-13 「レイアウトビューによる加工」のうち並べ替えについて）の操作動画

レポートレイアウトツール

お弁当販売データ: データベース- E:\お弁当販売データ ( 2007 - 2016 ファイル形式)

ファイル ホーム 作成 外部データ データベースツール ヘルプ デザイン 配置 書式 ページ設定 何をしますか

表示 テーマ 配色 表示 表示 テーマ 1

グループ化と並べ替え 詳細の非表示 コントロール

グループ化と集計

すべての 6月のお弁当販売月報

検索...

テーブル

お弁当販売テーブル

クエリ

例題2-3-10

例題2-3-11

例題2-3-8

例題2-3-9

フォーム

お弁当データ入力フォーム

レポート

6月のお弁当販売月報

6月のお弁当販売月報

カフェレストラン eez

商品ID	メニュー名	分類	売上数	売上高
D001	焼肉丼	弁当のみ	121	¥60,500
D002	生姜焼き弁当	弁当のみ	47	¥23,500
D003	自家製メンチカツ弁当	弁当のみ	53	¥26,500
D004	豚しゃぶ野菜炒め弁当	弁当のみ	94	¥47,000
D005	玉子とじ野菜炒め弁当	弁当のみ	50	¥25,000
D006	自家製ハンバーグオムレツ	ハンバーグ類	157	¥78,500
D007	ナポリタン	パスタ類	14	¥11,200
D008	オムライス	オムライス類	64	¥38,400
D009	オムドリア	オムライス類	33	¥26,400
D010	究極オムライス	オムライス類	9	¥9,000

グループ化、並べ替え、集計

2

グループの追加 並べ替えの追加

◆ 動画 32 教科書 p.109 手順 (p.107 例題 2-3-13 「レイアウトビューによる加工」のうち集計について) の操作動画

レポートレイアウト ツール お弁当販売データ: データベース- E:お弁当販売データ (

外部データ データベース ツール ヘルプ デザイン 配置 書式 ページ設定 何をしますか

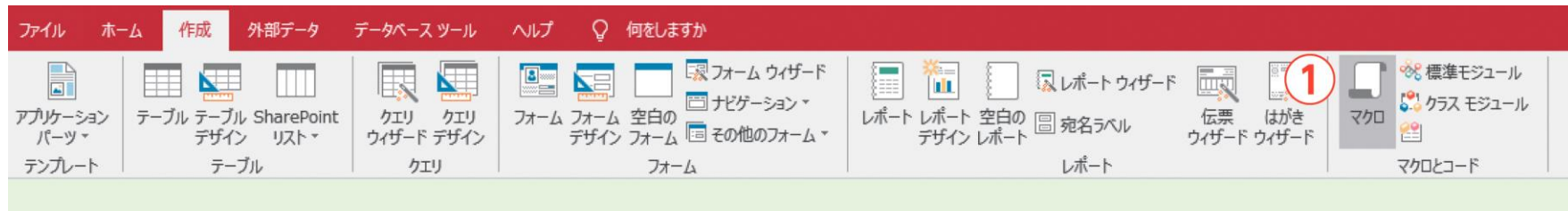
2 集計

- 合計(S)
- 平均(A)
- レコードのカウント(B)
- 値のカウント(V)
- 最大値(M)
- 最小値(I)
- 標準偏差(I)
- 分散(V)

6月のお弁当販売月報 カフェレストランegg

分類	売上数	売上高
弁当のみ		
D002 生姜焼き弁当	47	¥23,500
D005 五子とじ野菜炒め弁当	50	¥25,000
D003 自家製メンチカツ弁当	53	¥26,500
D004 豚しゃぶ野菜炒め弁当	94	¥47,000
D001 焼肉丼	121	¥60,500
		¥182,500
ハンバーグ類		
D006 自家製ハンバーグオムレツ	157	¥78,500
		¥78,500
パスタ類		
D007 ナポリタン	14	¥11,200
		¥11,200
オムライス類		
D010 究極オムライス	9	¥9,000
D009 オムドリア	33	¥26,400
D008 オムライス	64	¥38,400
		¥73,800
		¥346,000

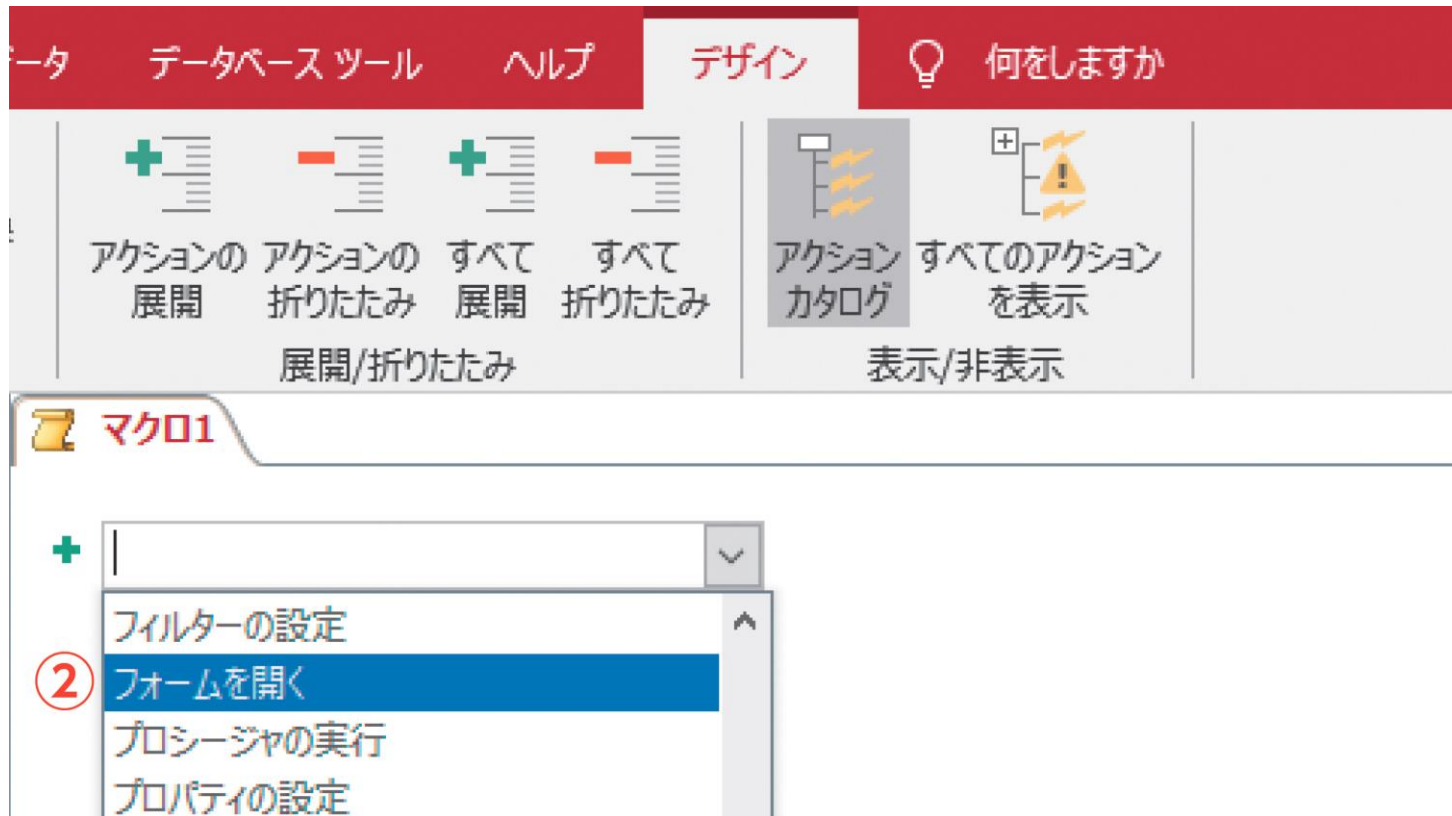
◆ 動画 33 教科書 p.120 手順 (p.120 例題 2-4-1 「マクロの作成」について) の操作動画



◆ 動画 34 教科書 p.122 手順 (p.121 例題 2-4-2 「ボタンの設置」について) の操作動画



◆ 動画 35 教科書 p.123 手順 (p.123 例題 2-4-3 「メニュー画面の作成」のうち検索マクロの作成について) の操作動画



- ◆ 動画 36 教科書 p.125 手順 (p.123 例題 2-4-3 「メニュー画面の作成」のうち印刷マクロの作成について) の操作動画

